

発行……吉原市役所
吉原市今泉43の1(電23111)
編集……市長公室

広報 よしおら

市民の動き

(2月28日現在)

男 …… 44,869
女 …… 43,932
計 …… 88,801

世帯数 …… 19,695

緑茶や肉ブタなど 大淵農業構造改善事業 農道づくり大半完工

昭和三十七年度から三十九年計画で始められた、須津地区の農業構造改善事業について、大淵地区で第二次農業構造改善事業が、昭和三十九年度から三十九年計画で始められています。

そこでこの号では、近代農業の旗頭、農業構造改善事業についてみてみることにしましょう。

大淵地区の農業経営は、作目が雑多で、労働力、資本が分散されています。また土地が狭小で、ため池、高水田、畑作専門のため池、早稲などの被害も多く、経営が非常に不安定になっています。

所得は軽く倍増 近々共同防除施設も着工

それでは現在どのような工事が行なわれ、40年度の計画にはどのようなものがあるか見てみます。

長三七八四、工費は四二七、一八二にわたります。土壌改良は、富士マサといわねる特殊地層を破砕す



急ピッチで進められる農道づくり(穴原町1丁目)

土木事業へ重点を 40年度施政方針説明



吉原市議会三月定例会は、三月十一日から会期十日間(日曜日は休会のため、三月二十二日まで)の予定で、たいま開かれていますが、一日目に各議員(写真)から、昭和四十年の施政方針、予算案の説明がなされることになりました。

昭和四十年の施政方針、予算案の説明がなされることになりました。その自治体に相応しい財政規模があり、これを逸脱(いっただ)しての財政規模の拡大は、いたずらに将来に禍根(かこん)を残すことにもなりません。

昭和四十年の施政方針、予算案の説明がなされることになりました。その自治体に相応しい財政規模があり、これを逸脱(いっただ)しての財政規模の拡大は、いたずらに将来に禍根(かこん)を残すことにもなりません。

昭和四十年の施政方針、予算案の説明がなされることになりました。その自治体に相応しい財政規模があり、これを逸脱(いっただ)しての財政規模の拡大は、いたずらに将来に禍根(かこん)を残すことにもなりません。

急ピッチで進められる農道づくり(穴原町1丁目)

急ピッチで進められる農道づくり(穴原町1丁目)

四月一日から市役所の執務時間が次のように変わります。
開始 午前8時15分
終了 午後4時45分
※ただし、土曜日は正午で終了します。

農政課の巻
本庁舎西側建物内にある農政課では、窪田課長以下二名の仕事をしています。道路建設や工場設置に伴い、農地は年々減少していき、農地確保が農地法にもとづき農地の転用や譲渡に関する仕事を防いでいます。振興係では、これからの農業のあり方や、新しい農業経営方法を農家のみなさんと一緒に研究しています。また須津みかんに次いで大淵地区の茶栽培が第二次農業構造改善事業として取り上げられ、振興係の手

労働保険に必ず加入を
近く法律も改正
商店、サービス業者、小工場などのために、現在、通事故の増加などで労働保険に加入していない場合は、安心して従業員を外に使用しないようにする必要があります。最近は一日も早く労働保険に加入して、安心して事業に専念できるようにしましょう。

農政課の巻
本庁舎西側建物内にある農政課では、窪田課長以下二名の仕事をしています。道路建設や工場設置に伴い、農地は年々減少していき、農地確保が農地法にもとづき農地の転用や譲渡に関する仕事を防いでいます。振興係では、これからの農業のあり方や、新しい農業経営方法を農家のみなさんと一緒に研究しています。また須津みかんに次いで大淵地区の茶栽培が第二次農業構造改善事業として取り上げられ、振興係の手